

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可児工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年11月7日(金) 10:00～12:00
- 3 開催場所 可児工業高等学校 同窓会館  
開催にあたり、委員による可児工祭見学を実施した
- 4 参加者 委 員 大杉 守平 中恵土自治連合会会長  
佐橋 紀康 可児市立図書館長  
岩田 美鈴 元本校PTA役員  
山口 小百合 元本校PTA役員  
古澤 敏典 PTA副会長  
  
学 校 側 加藤 昌宏 校長  
山田 巧 事務長  
青山 知喜 教頭  
熊崎 俊介 教務主任  
篠原 正樹 生徒支援部  
水野 孝二 進路指導主事  
宮田 忠夫 工業部長

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 学校評価アンケートの結果

意見1: 結果をどう活かすかが大切。目標の数値を設定し、どう取り組むかを検討していくべきである。

⇒今後、分掌ごとにデータを検証し、改善すべき点を明らかにして取り組んでいく。

#### (2) 可児工祭に対する意見・提言

意見1: 生徒の工夫や熱意が感じられた。手作り感満載で、温かみのある作品ばかりであった。

意見2: 展示や発表が多い普通科高校の学校祭と違って、工業高校ならではの体験的な出し物が大変よい。

意見3: 自分の子供が通学していた頃、可児工祭当日はPTA役員の仕事が忙しくてゆっくり見学する時間がなかったが、今回、みんなで考えて一から自分たちで作り上げている学校祭

だと知ることができた。

意見 4：可児工祭をしっかりと見たのは今回が初めてだが、生徒がとても元気で、質問に対してもしっかりと答えてくれた。何より、参加型の出し物が多く、生徒も楽しんでいることが伝わってきた。

意見 5：平日開催なので難しいかもしれないが、中学生に見せることが一番の学校 P Rになるのではないか。

意見 6：ハイブリッド車を始めとした自動車の展示は、生徒の学ぶモチベーションを高める役割を果たしていた。

### (3) 本校に対する意見・提言

意見 1：ものづくりに関する各種コンテストへの参加や資格取得にも力を入れているということだが、特に資格に関しては取得状況などの数値を示してほしい。

⇒第 3 回の学校運営協議会において、年度末の資格取得状況をデータで示す。

意見 2：先日の中恵土地地区の秋祭りには多くの生徒が協力してくれて、有り難かった。役員はもちろん、地区の方々も本当に感謝していた。

意見 3：特に思春期の男の子は、学校のことを話したがらない。学校から色々な情報を発信できるとよい。

⇒現在、学校行事や大切なお知らせはメールにて配信しており、その他にもホームページやインスタグラムでの情報発信も行っている。

意見 4：多様性の時代と言われているので、より一層、一人一人に寄り添った指導をしてもらえるとよい。

意見 5：専門外の先生が自ら勉強して生徒を指導し、ものづくりコンテストで全国大会出場を達成したとのことで、率先して引っ張るリーダーの背中を見て生徒は育つのだと感じた。

意見 6：本校を卒業して就職した子供が、資格取得に向けて時々高校で教えてもらっているようだ。また、会社を辞めた後、次の進路の相談に来る卒業生もいると聞く。卒業後も親身になって助けてくれる大人がいる、ということが有り難い。

⇒卒業生のためだけに職員を配置することは難しいが、部活動など高校生への指導と一緒に勉強する、ということであれば協力できる。資格を取得した暁には、高校生に教えてくれたり、卒業後の話をしてくれたりすれば、お互いにメリットがある。

### (4) 本校からの問いに対するご意見

・現在、本校からの情報発信手段は、メールの他にホームページやインスタグラムがあるが、保護者が情報を受け取るとしたら、ホームページとインスタグラムでは、どちらが便利か。

意見 1：ホームページは自ら見に行かなければならないが、インスタグラムであれば情報が発信されたことを知らせてくれる機能があるので、そちらの方が便利である。

・来年度の 1 年生からタブレットの自己負担が始まる。保護者の負担を減らすために学校諸費の見直しを進めているが、7～8 万円程度の負担増について、どのように思われるか。

意見 1：今やスマートフォンも 15 万円程度するものもある。子供への投資と考えれば出せない額ではないと思うが、中には難しい家庭もある。

⇒経済的に厳しい家庭についての支援は考えている。

意見2：すべてを4月にまとめて支払う、ということは難しい家庭もある。6月と12月のボーナスを当てにするとところもあるので、早めに連絡をもらって入学前から準備したり、支払いを6月にしてもらったり、などということができれば、対応できる家庭もあるのではないかな。

## 6 会議のまとめ

- ・可児工祭の見学を通して、元気な生徒の様子を見てもらうことができた。
- ・学校評価アンケートの結果をもとに新たな目標を定め、後期の教育活動に活かしていく必要がある。
- ・中学生や地域の方々、保護者等への情報発信についてはInstagramが有効であることから、フォロワー数増加に向けての取組を行っていきたい。
- ・来年度の1年生からの自己負担によるタブレット導入については、せっかく購入したのに十分使われていない、ということがないよう学校も積極的に取り組んでいくべきであるということを確認した。